



日本原演習場に到着した車両



ヘリパッド敷設訓練のため整地を行う重機



ヘリパッド敷設訓練をする海兵隊員



ヘリパッド敷設訓練をする海兵隊員

The first writing of the year in Waki

新春  
The New Year

日米交流  
U.S.-Japan Joint Calligraphy Event

“KAKIZOME”

2019年1月5日(土)  
9:30-13:00

Sat. 5th Jan. 2019  
9:30am-1:00pm

会場 和木町立和木小学校  
Waki elementary school  
1-1-1, Waki, Hiroshima Prefecture

参加者 米海兵隊 前田航空基地内の川中学生  
和木町内の小中学生  
広島県立大竹高等学校 総務課 講師

Participants Marine Corps Air Station Iwakuni Elementary and Middle School Students  
Waki Town's Elementary and Junior High School Students  
Calligraphy Club from Hiroshima Prefectural Onake High School

★新型コロナウイルス感染症の発生により、一部参加者が中止となります。  
Due to the spread of COVID-19, some students may cancel.



書き初め会

日米交流事業の開催については  
こちらのQRコードでご覧いただけます。⇒

## 目次

- ◆ 日本原演習場における米軍単独訓練の実施
- ◆ 日米交流事業「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」開催
- ◆ 安心安全共同パトロール(岩国市内)
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地セーフティブリーフィング
- ◆ イーグリス・アショアに係る全員協議会、説明会及び各種調査業務について
- ◆ 平成30年版防衛白書
- ◆ 広島県知事から中国四国防衛局へ感謝状贈呈
- ◆ 航空自衛隊による災害派遣(浄水・給水支援)
- ◆ 頑張ろう呉!! 海上自衛隊呉音楽隊スペシャルコンサート開催
- ◆ 平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- ◆ 学校・病院等に係る防音対策事業について
- ◆ 平成30年度防衛大臣感謝状贈呈(和木町長)
- ◆ 平成30年度特別優秀工事等顕彰表彰式
- ◆ 職員の独り言
- ◆ 調達部に「事業監理課」が新設されました。



編集・発行 中国四国防衛局  
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30  
Tel 082-223-7109





## 日本原演習場における米軍単独訓練の実施

平成30年10月7日から20日の14日間、岡山県の陸上自衛隊日本原演習場において、米海兵隊岩国航空基地所属の後方支援部隊が初の単独訓練を実施しました。

主な訓練内容は、車載マシンガンによる実弾射撃訓練、ヘリパッド敷設訓練、浄水訓練の3種類であり、同部隊は日本原駐屯地内のグラウンドに指揮所や宿営用テント、フィールドキッチンなどからなる宿営所を設け、そこから演習場に移動して訓練を実施しました。



駐屯地グラウンドに張られた宿営用テント



ヘリパッド敷設訓練のため整地を行う重機

訓練実施に当たっては、平成30年6月29日に津山市及び奈義町と中国四国防衛局の間で調印した「陸上自衛隊日本原演習場の米軍使用に関する覚書」に従い、地域住民の安全・安心のため、当局は自衛隊の協力を得て駐屯地内に連絡所を設けて24時間態勢で連絡員を配置し、地元自治体等との連絡調整、訓練時間中の演習場外周の巡回、夜間の宿営地の巡回などの対応を行いました。

また、米軍の到着翌日には海兵隊員が集合し、自衛隊から訓練に当たっての注意事項等の教育が行われ、訓練中も自衛隊が状況を確認するなど、十分な安全管理のもと訓練が実施されました。



連絡所で勤務する当局職員



巡回用車両



ヘリパッド敷設訓練を視察する地元代表者

平成30年10月15日には訓練の公開が行われ、津山市及び奈義町の演習場対策委員、議員、報道機関など約90人が参加し、宿営地、浄水訓練、ヘリパッド敷設訓練の状況を視察しました。

部隊司令のブレイディ・P・ペトリロ中佐は、「単独訓練の機会をいただき心から感謝」「訓練実現に尽力した関係者に感謝」といった旨の挨拶をされ、報道機関からインタビューを受けた地元代表者は、「米軍は安全に訓練を実施している。住民の不安を払しょくするものを見ることができた」「防衛局は巡回などをしっかりと実施しており、覚書を守ってくれていると思う」といった旨のコメントをされていました。

訓練は事故やトラブルなく終了し、20日朝、同部隊は岩国航空基地に帰還しました。



インタビューを受けるペトリロ中佐



訓練視察後はペトリロ中佐を囲んで記念撮影







# 日米交流事業「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」開催

平成30年10月21日、山口県大島郡周防大島町にある周防大島町陸上競技場において、今年で5年目となる日米交流事業「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」を中国四国防衛局が主催して開催しました。

当日は、米海兵隊岩国航空基地司令のファースト大佐、周防大島町の西川教育長をお迎えし、周防大島町内のサッカー少年団と米軍岩国基地内のサッカーチームにそれぞれ所属する児童約50名が参加しました。

参加者は、5つの日米混合チームに別れ、午前中はゲーム形式での練習を行い、コミュニケーションを図ると共に、いつもと違った練習を楽しみました。

午後からは、5チームによるリーグ戦を行い、肌寒い風の吹く中、熱戦を繰り広げました。



中国四国防衛局主催の日米交流事業についてはQRコードをご覧くださいませ。⇒





## 安心・安全共同パトロール(岩国市内)

### 岩国市川下地区のパトロール



### 岩国市麻里布地区のパトロール



平成30年9月19日、米海兵隊岩国航空基地周辺において「安心・安全共同パトロール」を実施しました。当該パトロールは、市民と行政が協働して防犯活動を進めるものです。

当日は、福田岩国市長をはじめ、飯田山口県岩国県民局長、ファースト米海兵隊岩国航空基地司令及び赤瀬中国四国防衛局長並びに岩国市川下地区及び麻里布地区の防犯パトロール隊の皆さんにもご協力いただきました。パトロール参加者は約60名でした。



## 米海兵隊岩国航空基地セーフティ・ブリーフィング



平成30年11月16日、赤瀬中国四国防衛局長が米海兵隊岩国航空基地オリエンテーションの午後の部に出席し、同基地の米軍構成員等約100名を前に、基地問題の現状、事件・事故が地域に及ぼす影響、またその予防の重要性、そして地域住民との交流の重要性について講演を行いました。

また、同日の午前部では、福田岩国市長が岩国市の安心・安全対策の一環として、事件・事故の防止などを求める講演を行いました。





# イージス・アショアに係る全員協議会、説明会及び各種調査業務について

## 萩市議会・阿武町議会全員協議会、現地説明会、萩市民・阿武町民の方々への説明会（10月）

平成30年10月12日から15日にかけて地元説明会を実施しました。

地元説明会では、赤瀬中国四国防衛局長及び五味防衛政策局戦略企画課長ほかが萩市議会及び阿武町議会の全員協議会、萩市民及び阿武町民の方々に対し、各種調査の詳細な内容や進め方を中心に説明しました。また、併せてむつみ演習場内において現地説明会を実施し、期間中、多くの方々に参加して頂き、議会議員及び住民の方々から貴重なご質問様々のご意見等を頂きました。

地元説明会の中で、赤瀬局長及び五味課長は「むつみ演習場周辺への影響について、しっかりと説明するために調査をさせて頂き、結果についても丁寧に説明していく」と述べ、議会議員及び住民の方々に真摯に対応していくとを伝えました。また、10月13日には地元説明会に合せて「電波の安全性と人体の防護指針」について有識者による講演も行いました。



現地説明で説明を聞く住民の方々(演習場内)

現地説明会等開催日程（延べ約500人）	
10月12日 (金)	現地説明会（萩市議会） 全員協議会（萩市議会） 住民説明会（阿武町のうそんセンター）
10月13日 (土)	現地説明会（萩市） 有識者講演（萩市むつみコミュニティーセンター及び阿武町のうそんセンター） 住民説明会（萩市むつみコミュニティーセンター）
10月14日 (日)	現地説明会（阿武町） 住民説明会（萩市市民館）
10月15日 (月)	現地説明会（阿武町議会） 全員協議会（阿武町議会） 住民説明会（阿武町町民センター）

## 各種調査業務の開始について

平成30年10月29日よりイージス・アショアに係る測量調査及び土質調査を開始しました。

測量調査は、航空測量に係る地上の標識設置から開始し、11月からは航空機による写真撮影を行い、現在地形図作成等の作業を行い、来年1月末に調査を終える予定です。

土質調査は水文調査から開始し、萩市の簡易水道安附水源から水質分析用の採水を行い、引き続き、井戸、湧水等の観測や採水等も行いました。

12月に入り地質を確認するボーリング調査を実施し、来年3月末に調査を終える予定です。



萩市安附簡易水道の採水



航空測量標識設置(演習場内)



ボーリング調査の実施



水文調査のための周辺の井戸を  
観測・採水



羽月川の流量観測



羽月の名水から水質分析の採水





# 平成30年版防衛白書

平成30年版防衛白書が完成し、中国四国防衛局管内の220自治体に対し、中国四国防衛局、各地方協力本部及び部隊等において、首長への説明を実施しました。

今回の防衛白書の特色としては、AR(Augmented Reality:拡張現実)動画を活用した紙面では表現できない隊員や装備品等の動きを視聴可能としたこと。また、巻頭部分において、写真や図表を活用し、現場隊員の声も紹介しながら、防衛白書に馴染みのない方にも興味を持って頂けるよう、ビジュアルな形で作成したことです。

巻末特集では、自衛官の生の声により自衛官の魅力を発進すると共に、任期制自衛官について詳しく紹介しています。

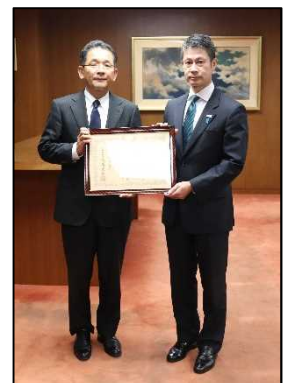


## 広島県知事から中国四国防衛局へ感謝状贈呈

平成30年12月6日、広島県知事より中国四国防衛局に対し、平成30年7月豪雨の際の災害支援活動について感謝状が贈呈されました。

中国四国防衛局は災害に際し、呉市天応地区において、土砂災害により避難所に避難している被災者の方々を入浴場所まで車両にて送迎する入浴者輸送支援を実施いたしました。

また、県庁に職員を派遣し、糸崎港で入浴支援を行った「はくおう」に係る連絡調整等も実施いたしました。







## 航空自衛隊による災害派遣(浄水・給水支援)

平成30年10月22日、山口県大島郡周防大島町において、大島大橋に外国船籍が接触し、島に水を供給する送水管が脱落、水道を利用する住宅等が断水したため、24日に山口県知事から航空自衛隊第12飛行教育団司令に対して給水支援に係る災害派遣要請があり、これを受け、航空自衛隊は、第12飛行教育団(防府北)、航空教育隊(防府南)、第1航空団(浜松)、西部航空警戒管制団(春日)が浄水・給水活動を実施、11月7日までの撤収要請までの間、航空自衛隊から人員延べ約500名、車両延べ約170両(2ト水タンク82基を含む)、造水機延べ26基、自治体等との調整人員延べ99名が派遣され地域住民の方々に寄り添った活動を行いました。

航空自衛隊が今回災害現場に持ち込んだ造水機は、「非常用給水装置」と言われ、淡水の場合1日当たり24ト、海水の場合1日あたり15トの造水が可能であり、10月25日から11月6日までの13日間に約93.8トを造水し、病院等に給水しました。



給水を受ける住民の方々(周防大島町)



航空自衛隊が災害派遣で使用した造水機



## 頑張ろう呉!!海上自衛隊呉音楽隊スペシャルコンサート開催

平成30年9月24日に呉市文化ホールで「頑張ろう呉!!海上自衛隊呉音楽隊スペシャルコンサート」が開催されました。この演奏会は平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の災害復興をめざし、「がんばろう呉」を合い言葉に被災された方々へ元気をお届け出来るよう企画され、3部構成で行われました。

第1部では、呉音楽隊が「てつのくじら」(天野正道作曲)のほかNHK大河ドラマ「西郷どん」のメインテーマ等の作品が演奏され会場の熱気は一気に高まりました。

第2部では、呉地方総監の挨拶後、新しくなった「くれこ」「やまと」のマスコットキャラクターを紹介及び新原呉市長の挨拶があり、その後「IKUZAWA BAND」の迫力あるステージが披露されました。

第3部では、長年に渡って愛されているザ・ドリフターズの曲が盛り込まれた「ジャパニーズ・グラフィXXII」や、ソコの奏者のクラリネットがだんだん小さくなってゆく「インナー・クライマー」、キッチン用品を使った「パニックキッチン協奏曲」が演奏され、観客の皆さんと音楽隊が一体となって楽しめました。

また、第3部最後の「ゲラゲラポーの歌」では呉音楽隊と「IKUZAWA BAND」が競演するとともに呉地方総監と新原呉市長のダンスが披露され好評を博しました。







# 平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

平成30年10月18日広島県呉市にあるビューポートくれホテルで、同月25日には山口県岩国市の海兵隊岩国航空基地において、勤続40・30・20・10年の方々に表彰状を贈呈しました(呉25名、岩国106名)。

呉では、呉市長、東広島市長(代理)、江田島市長(代理)及び全駐留軍労働組合広島地区本部執行委員長、岩国では、岩国市長(代理)、岩国市議会議長及び全駐留軍労働組合山口地区本部執行委員長のご臨席を賜りました。

主催者の中国四国防衛局長から、「長年にわたり重要な職務に精励され、職責を果たしてこられた皆様方に対し、心から敬意を表します。これからも、それぞれの職責において、一層御活躍されることをお願いするとともに、日米両国の架け橋として、貢献して頂ければ大変ありがたいと思っております。」と祝辞が述べられました。

呉からは勤続30年受賞者が、岩国からは勤続40年受賞者がそれぞれ代表して、「私たちは、本日のこの意義ある式典を心の糧とし、永年にわたって培った知識や経験を活かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいります。」と謝辞が述べられました。

呉表彰式



岩国表彰式



## 学校・病院等に係る防音対策事業について

■ 防衛省では、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」により、自衛隊等の航空機の離着陸等のひん繁な実施等により生じる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、地方公共団体その他の者が学校・病院等\*の防音工事を実施するときは、その費用の全部又は一部を補助しています。

\* 学校等：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、保育所など  
病院等：病院、診療所、助産所、特別養護老人ホームなど

■ また、上記の補助事業により防音工事を実施した幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び保育所などに設置されている換気設備、温度保持設備又は除湿設備を、騒音防止のため、稼働させ、又は稼働し得るよう維持する際の電気料金等について補助しています。

### 【換気・除湿】

空調機器を取り付けします。  
(全熱交換器及び個別分散空調等)

### 【吸音】

壁・天井を吸音材料などで仕上げます。

### 【遮音】

防音サッシに取り替えます。

音響測定の結果によって、防衛省の定めた「防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書」により工事(1~4級)を行って頂きます。



防音工事は、遮音(防音サッシの取付け)、密閉された室内空気の換気・除湿(空調機器の取付け)及び室内の壁・天井を吸音材料などで仕上げるのが、主な内容です。





## 平成30年度 防衛大臣感謝状贈呈(和木町長)



左:米本和木町長 右:山田防衛大臣政務官



左:高橋防衛事務次官 右:米本和木町長



左:青柳報道官 中央:米本和木町長 右:中村地方協力局長

平成30年10月13日、米本正明和木町長は、これまで防衛省の施策の重要性を深く理解いただき、岩国飛行場と周辺地域の融和、協調を図るなど、当省の防衛政策及び防衛施設の安定的使用に多大な貢献をされたことから、防衛協力功労者として防衛大臣から表彰されました。

防衛大臣感謝状贈呈式は、防衛大臣の主催により、自衛隊に対する功労が著しいと認められる隊員以外の者又は団体に感謝の意を表すため、昭和32年から自衛隊記念日行事の一環として毎年実施されています。



## 平成30年度特別優秀工事等顕彰表彰式

平成30年8月31日、防衛省において、平成30年度特別優秀工事等顕彰表彰式が行われました。

本年度の中国四国防衛局の関係では、以下の特別優秀工事3件の受注者である4社に対し、平井大臣官房施設監から顕彰状が贈呈されました。

本制度は防衛省が発注した工事・業務のうち、平成29年度に完成したもののなかから、工事・業務成績評定や現場における創意工夫並びに施工努力等を総合的に評価し、他の模範とするにふさわしい工事・業務を選び、その受注者を顕彰するというものです。

今回顕彰状が贈呈された各社は、施設の出来形や品質が優れているだけでなく、愛宕山地区整備事業の建設工事に貢献し、米軍再編計画の着実な実施、さらには日米安全保障体制の維持に果たした功績が大きいと評価されたものです。

岩国飛行場(H28)愛宕山(運動施設地区)屋外運動施設等新設土木工事  
戸田建設株式会社・日栄興業株式会社

岩国飛行場(H27)愛宕山(運動施設地区)野球場新設建築その他工事  
五洋建設株式会社・株式会社大島組

岩国飛行場(H27)愛宕山(運動施設地区)文化交流施設新設建築工事  
五洋建設株式会社







## 職員の独り言



おかざき たくみ  
(施設管理課 岡崎 拓海)

本年4月に、北海道から広島へ異動して来ました。今まで道外で生活したことは無かったため、気候等を通して、改めて日本の広さを実感しています。

私の所属している企画部施設管理課では、主に国有財産の管理に関する業務をしており、なかでも私は米軍に関する財産の管理を担当しています。もちろん、書類上で確認するだけではなく、財産管理の一環として米軍基地の施設に行くこともあるので、様々な経験ができる良い職場だと思います。

ちなみに休日は、広島ならではの食べ物を求めて街を歩いてみたりしています。私事ですが、米軍に関する仕事を担当していながら、英語が話せないため、今後は語学力の向上にも力を入れていきたいです。

私は、平成26年度入省から施設取得課、地方調整課、防音対策課の業務に携わり、今年度より自衛隊施設、財産等の国有財産管理を主に行う施設管理課に所属しております。多種多様な財産の動きを自衛隊や財務局との調整、協議を行いつつ処理、記録等を行っており、初めての業務には不安がありますが、ひとつひとつ理解し無事やり遂げた時には大きな達成感があります。

その他航空機騒音対策として基地周辺住宅の防音工事の手続きや、航空機を新しく配備する際に、地域の方々にご理解いただくための説明会を行ったりと、各業務を通して地域に寄り添い、良い関係を築きながら、地域の方々と一緒に日本の安全保障を支えているのだと実感しています。

また、仕事を通して各地の自治体、工事業者、自衛隊の方々と接する機会があるため、その町の魅力を教えてもらうこともあり、趣味である旅行がますます楽しみになりました。

これからもどんな業務、環境でも臨機応変に対応できる職員を目指しつつ、各地の新たな魅力を発見していきたいです。



ふくだ けいすけ  
(施設管理課 福田 圭佑)

## ◆◆◆ 調達部に「事業監理課」が新設されました。 ◆◆◆

平成30年12月1日、調達部に「事業監理課」が新設されました。

事業監理課の新設は、防衛力を発揮させるために必要な防衛施設を適切に整備するため、

- ①プロジェクトマネジメント態勢の強化
  - ②検査機能の一元化
  - ③ライフサイクルマネジメント体制の強化
- を目的としています。

